



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社三洋堂ホールディングス

コード番号 3058 URL <http://www.sanyodohd.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役最高経営責任者兼最高執行役員 （氏名）加藤 和裕

問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員人事総務部長 （氏名）伊藤 勇 TEL 052-871-3434

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,369	△3.4	151	△47.6	144	△48.0	83	△45.3
25年3月期第2四半期	12,802	△5.9	289	△38.1	278	△39.7	152	△33.6

（注）包括利益 26年3月期第2四半期 82百万円（△42.2%） 25年3月期第2四半期 143百万円（△37.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	14.37	14.30
25年3月期第2四半期	26.29	26.13

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,563	3,273	19.5
25年3月期	16,520	3,220	19.2

（参考）自己資本 26年3月期第2四半期 3,237百万円 25年3月期 3,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.50	8.50
26年3月期	—	4.00			
26年3月期（予想）			—	4.50	8.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△4.6	340	△37.5	320	△38.5	110	△23.3	18.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	6,000,000株	25年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	192,906株	25年3月期	198,106株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	5,804,523株	25年3月期2Q	5,799,432株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。また、当社グループは、平成25年11月27日（水）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済及び金融政策への期待感などから円高の是正や株価の上昇等によって景況感や消費動向の変化に明るい兆しが見られたものの、原材料価格の上昇に伴う電気料金の値上げなど国内景気の下振れ懸念があることから、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましても、消費税増税問題などによる先行きに対する不安感から低価格志向や節約志向は継続しており、厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、ネット配信では得られないリアル店舗ならではの楽しさを追求し、雑貨・菓子・玩具・トレーディングカード・古本等の新たな商材の取り扱いを拡大した「ブックバラエティストア」を展開しております。

当第2四半期連結累計期間においては、4月に西可児店をフランチャイズから直営化したほか、同じく4月に石岡店(茨城県)、5月に新関店(岐阜県)、6月に小浜店(福井県)、7月に平群店(奈良県)で、文具売場の拡大や古本の導入を行うなどブックバラエティストア化を目的とした既存店の改装を実施いたしました。また、5月には、「ポストカード」や「クリアファイル」などのオリジナル特典を付したコミックやTVゲームなどを全国のお客様にも提供するため「三洋堂Webshop」を開設いたしました。

さらに当社グループは、本部と店舗間のコミュニケーションを強化する多店舗支援クラウドサービス「店舗matic」(株ネクスウェイ提供)を導入し、本部から各店舗への指示の伝達や本部による各店舗の状況把握に関する業務の効率化を図りました。

以上の結果、売上高123億69百万円(前年同四半期比3.4%減)、営業利益1億51百万円(同47.6%減)、経常利益1億44百万円(同48.0%減)、四半期純利益83百万円(同45.3%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 個人顧客事業

個人顧客事業の売上高は、主力の書店部門とレンタル部門は厳しい推移が続きましたが、ブックバラエティストア化の推進により文具・雑貨・食品部門と古本部門が好調に推移し、全体では122億70百万円(同3.4%減)となり、セグメントの営業利益は2億19百万円(同39.2%減)となりました。

(書店部門)

書店部門におきましては、4月には村上春樹の「色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年」(文藝春秋)が発売され、同時期に発表された本屋大賞も話題となったほか、7月から9月まで放映されたテレビドラマ「半沢直樹」の原作となった池井戸潤の作品もブームとなるなど、話題作が店頭を牽引いたしました。また、提案型の売場作りに重点を置いたほか、オリジナル特典を付した商品提供の推進、各ジャンルの品揃え強化などの取り組みを行ってまいりましたが、雑誌の販売不振が続くなど全体的には前年同四半期を上回ることができず、厳しい状況が続きました。

以上の結果、書店部門の売上高は77億70百万円(同2.6%減)となりました。

(文具・雑貨・食品部門)

文具・雑貨・食品部門におきましては、4月に石岡店において文具売場を100坪に拡張すると同時に、(株)ワッツによる100円均一コーナー「ミーツ」の導入を行い、5月に新関店、6月に小浜店、7月に平群店において文具売場の大幅な拡張を行いました。また、飲料を4店舗、アイスクリームを3店舗にそれぞれ導入したほか、低価格帯の食玩、プラモデル及びフィギュアなどを中心とするホビーを17店舗に導入いたしました。

以上の結果、文具・雑貨・食品部門の売上高は8億34百万円(同3.5%増)となりました。

(セルAV部門)

セルAV部門におきましては、前年同四半期に匹敵するほどの話題作がなく厳しい状況となりました。このような状況のなか、一部の店舗でCD旧譜の在庫強化を開始したほか、「キッズDVDプライスオフ」セールや、「なつかし系」の廉価版CDのワゴン展開の拡大、DVD『どれでも1枚1,000円』を実施するなどの取り組みを行いました。また、コンサート会場での即売会を行ったほか、地元の高校野球のDVD(岐阜県大会と三重県大会)を、店頭と「三洋堂Webshop」にて販売いたしました。

以上の結果、セルAV部門の売上高は9億12百万円(同14.7%減)となりました。

(TVゲーム部門)

TVゲーム部門におきましては、9月の「モンスターハンター4」(3DS)の発売に伴い、同ソフトのみならずゲーム機本体および周辺機器の同時購入もあり、売上を伸ばすことができましたが、上記以外には前年同四半期ほどの有力な新作ソフトがなく苦戦が続きました。また、旬やお奨めの作品を訴求するために、新品ゲームの最新作及び話題作の売場を変更し、6月から当社オリジナル特典付のソフトを数量限定販売するなどの取り組みを開始しました。新品トレーディングカードにつきましては、BOX予約に積極的に取り組んだほか、取扱店舗を前連結会計年度末時点より3店舗増やして82店舗といたしました。

以上の結果、TVゲーム部門の売上高は5億77百万円(同4.8%減)となりました。

（古本部門）

古本部門におきましては、ブックバラエティストア化の推進により販売店舗数を前連結会計年度末時点より5店舗増やして44店舗としたほか、30%オフセールを定期的実施するなど積極的な拡販を行い、売上を伸ばすことができました。

以上の結果、古本部門の売上高は2億61百万円（同17.2%増）となりました。

（レンタル部門）

レンタル部門におきましては、競合他社の低価格競争が激化しており、厳しい状況が続いております。そのため、「アイアンマン3」や「t e d」などのビッグタイトルや選定した商品の仕入枚数を増やして機会損失を減らす施策や、劇場公開関連作のバックオーダーを実施するなど、仕入の強化を行いました。また、「アジアTVドラマ スタンプラリーキャンペーン」を実施したほか、洋画の新作売場を拡げるなどの施策を展開し、売上の確保に努めました。

以上の結果、レンタル部門の売上高は19億12百万円（同5.2%減）となりました。

② 法人顧客事業

フランチャイジーの経営指導や商品卸売販売などによる法人顧客事業の売上高は、3百万円（同0.5%増）となりましたが、「三洋堂W e b - s h o p」の開設に伴う費用の増加により、セグメントの営業利益は1百万円（同48.5%減）となりました。

③ サービス販売事業

不動産賃貸収入、自動販売機収入、受取手数料、保険代理業収入などによるサービス販売事業の売上高は、95百万円（同4.4%減）となりましたが、転貸契約の解消に伴う当該売上原価の減少などにより、セグメントの営業利益は71百万円（同9.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は165億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加などにより流動資産が3億20百万円増加したこと、建物及び構築物などの償却により固定資産が2億77百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては132億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他の減少などにより流動負債が2億5百万円減少したこと、長期借入金の増加などから固定負債が1億95百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては32億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上などにより利益剰余金が56百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年11月11日に第2四半期累計期間のみ連結業績予想を修正しております。通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に発表した予想数値から変更しておりません。

詳細につきましては、平成25年11月11日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今後の進捗状況により、連結業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,917	1,740,588
売掛金	80,583	66,199
商品	5,046,062	5,237,114
その他	653,985	448,302
流動資産合計	7,171,548	7,492,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,513,077	3,342,523
土地	2,760,822	2,760,822
その他(純額)	475,457	420,954
有形固定資産合計	6,749,356	6,524,300
無形固定資産	429,171	394,239
投資その他の資産		
その他	2,173,391	2,155,490
貸倒引当金	△3,000	△3,000
投資その他の資産合計	2,170,391	2,152,490
固定資産合計	9,348,920	9,071,030
資産合計	16,520,469	16,563,236
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,750,422	7,742,364
1年内返済予定の長期借入金	734,976	775,976
未払法人税等	176,830	135,933
賞与引当金	72,425	96,255
ポイント引当金	191,660	192,090
その他	598,360	376,269
流動負債合計	9,524,674	9,318,888
固定負債		
長期借入金	2,889,886	3,079,998
退職給付引当金	294,363	297,734
資産除去債務	566,014	571,535
その他	25,309	21,519
固定負債合計	3,775,573	3,970,788
負債合計	13,300,248	13,289,676

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,000	1,290,000
資本剰余金	1,016,933	1,016,933
利益剰余金	990,279	1,046,778
自己株式	△170,773	△166,290
株主資本合計	3,126,440	3,187,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,527	49,969
その他の包括利益累計額合計	50,527	49,969
新株予約権	43,252	36,169
純資産合計	3,220,220	3,273,560
負債純資産合計	16,520,469	16,563,236

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	12,802,382	12,369,056
売上原価	8,865,010	8,598,320
売上総利益	3,937,372	3,770,736
販売費及び一般管理費	3,647,700	3,618,941
営業利益	289,671	151,795
営業外収益		
受取利息	2,790	2,593
受取配当金	2,223	2,072
受取保険金	6,401	5,592
その他	6,546	9,201
営業外収益合計	17,961	19,460
営業外費用		
支払利息	27,681	24,429
その他	1,469	2,071
営業外費用合計	29,150	26,501
経常利益	278,482	144,754
特別利益		
補助金収入	2,466	—
新株予約権戻入益	—	8,507
その他	—	14
特別利益合計	2,466	8,521
特別損失		
固定資産除却損	1,368	863
固定資産圧縮損	2,466	—
その他	47	—
特別損失合計	3,882	863
税金等調整前四半期純利益	277,066	152,412
法人税、住民税及び事業税	136,650	132,429
法人税等調整額	△9,121	△63,446
法人税等合計	127,529	68,983
少数株主損益調整前四半期純利益	149,536	83,428
少数株主損失(△)	△2,958	—
四半期純利益	152,495	83,428

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	149,536	83,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,186	△558
その他の包括利益合計	△6,186	△558
四半期包括利益	143,350	82,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,309	82,870
少数株主に係る四半期包括利益	△2,958	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。